

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の398億7,132万8千円に比べ、20億1,094万3千円、5.0%の増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

| 会計名 | 平成28年度 当初予算額 (A) | 平成27年度 6月補正後 (B) | 比較 | |
|---------|------------------------|------------------------|-----------------|------------------------|
| | | | 増減 (A) - (B) | 伸び率 (A) - (B) / (B) |
| 病院事業 | 7,403,954 | 7,321,964 | 81,990 | 1.1 |
| 水道事業 | 19,435,833 | 15,847,071 | 3,588,762 | 22.6 |
| 工業用水道事業 | 12,146,368 | 12,378,750 | △232,382 | △1.9 |
| 電気事業 | 2,896,116 | 4,323,543 | △1,427,427 | △33.0 |
| 合計 | 41,882,271 | 39,871,328 | 2,010,943 | 5.0 |

(注) 平成27年度当初予算は骨格的予算のため、6月補正後ベースで比較してあります。

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入した県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 784床

(イ) 患者数

| | 年間 | 1日平均 |
|-------|----------|------|
| 入院患者数 | 212,430人 | 582人 |
| 外来患者数 | 172,125人 | 708人 |

イ. 収益的収支 収入 5,503,267千円 資本的収支 収入 1,504,199千円
支出 5,431,659千円 支出 1,972,295千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が30億3,277万8千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が24億7,048万9千円で、合わせて55億326万7千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が52億2,866万7千円、支払利息等の医業外費用が2億299万2千円で、合わせて54億3,165万9千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、平成28年度は7,160万8千円の経常利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債3億9,920万円や県費負担金7億5,499万9千円など、合わせて15億419

万9千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費4億5,549万2千円や企業債償還金10億6,960万3千円など、合わせて19億7,229万5千円を計上しています。

ウ. 平成28年度の事業運営

県立こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、県立一志病院においては、家庭医を中心とした地域医療の取組など、また、県立志摩病院においては、指定管理者による運営のもと、診療体制の回復を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めるなど、それぞれの県立病院に求められている役割・機能等を踏まえつつ、県民の皆さんに安全で良質な医療が提供できるよう充実した取組を実践するとともに、引き続き経営改善に努めていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 72,143,344m³

1日平均給水量 198,196m³

| | | | | | |
|----------|----|-------------|-------|----|--------------|
| イ. 収益的収支 | 収入 | 9,586,630千円 | 資本的収支 | 収入 | 1,453,231千円 |
| | 支出 | 9,413,940千円 | | 支出 | 10,021,893千円 |

収益的収入は、給水収益86億4,673万7千円とその他営業収益を合わせた営業収益86億5,028万3千円及び長期前受金戻入8億1,765万7千円等の営業外収益9億3,634万7千円です。

収益的支出は、人件費、委託料、減価償却費等の営業費用85億7,091万1千円と支払利息等の営業外費用8億4,102万9千円が主なものです。

以上の結果、4,634万8千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金10億1,146万8千円と工事受託金4億4,176万3千円です。

資本的支出は、中勢水道改良事業等の建設改良費29億50万円、企業債償還金31億2,139万3千円及び一般会計貸付金40億円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、中勢水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

| 事業名 | 計画年度 | 総事業費 | うち本年度 事業費 | 備考 |
|------------|------|-----------|--------------|---------|
| 業務設備及び改良事業 | H28 | 100,612 | 100,612 | 既設設備の改良 |
| 北勢水道改良事業 | H28 | 948,610 | 948,610 | 既設施設の改良 |
| 中勢水道改良事業 | H28 | 1,297,490 | 1,297,490 | 既設施設の改良 |
| 南勢水道改良事業 | H28 | 498,713 | 498,713 | 既設施設の改良 |

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 93社
 (イ) 年間総給水量 201,271,615m³
 1日平均給水量 551,429m³

イ. 収益的収支 収入 6,138,989千円 資本的収支 収入 1,372,246千円
 支出 5,931,256千円 支出 6,215,112千円

収益的収入は、給水収益53億5,402万1千円とその他営業収益を合わせた営業収益56億1,879万5千円及び長期前受金戻入4億5,108万4千円等の営業外収益5億2,019万4千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用55億8,349万8千円と支払利息等の営業外費用3億4,575万8千円が主なものです。

以上の結果、2,975万7千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金12億4,248万2千円と補助金1億730万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費40億6,108万7千円と企業債償還金21億5,402万5千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

| 事業名 | 計画年度 | 総事業費 | うち本年度 事業費 | 備考 |
|--------------|------|-----------|--------------|---------|
| 業務設備及び改良事業 | H28 | 203,275 | 203,275 | 既設設備の改良 |
| 北伊勢工業用水道改良事業 | H28 | 3,245,879 | 3,245,879 | 既設施設の改良 |
| 松阪工業用水道改良事業 | H28 | 187,560 | 187,560 | 既設施設の改良 |
| 中伊勢工業用水道改良事業 | H28 | 245,874 | 245,874 | 既設施設の改良 |

(4) 電気事業会計

電気事業は、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電を行っています。また、平成27年4月1日に全ての水力発電所の民間譲渡が完了したことから、水力発電事業における残務整理の平成28年度末終了をめざします。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 44,328,315kWh

| | | | | | |
|----------|----|-------------|-------|----|-------------|
| イ. 収益的収支 | 収入 | 1,382,022千円 | 資本的収支 | 収入 | — 千円 |
| | 支出 | 1,392,914千円 | | 支出 | 1,503,202千円 |

収益的収入は、電力料8億6,430万1千円等の営業収益13億1,448万1千円と長期前受金戻入4,139万円等の営業外収益6,754万1千円です。

収益的支出は、人件費、委託料、減価償却費等の営業費用13億3,983万9千円と消費税及び地方消費税等の営業外費用5,107万5千円が主なものです。

以上の結果、253万5千円の当期純利益を計上しています。

また、資本的支出は、一般会計貸付金15億円が主なものです。

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。